

東京都立八王子桑志高等学校 令和6年度 年間指導計画（シラバス）

教科・分野：	芸術	科目：	音楽基礎	単位数：	2	指導学年：	2
使用教科書	自主教材	副教材					

年間指導目標：

- ・読譜能力の向上と応用 ・オペラやミュージカルなどの総合芸術において、物語と音楽が関わり合いながらどのような表現上の効果をもたらしているか考える。
- ・様々なジャンルの楽器の音色や響き、音楽との関りを理解し、そのよさや美しさを自ら味わって聴く。

評価規準	知識・技能（知）	思考力・判断力・表現力（思）	主体的に学習に取り組む態度・学びに向かう力（態）
	・表現形態の特性を生かし、歌や楽器演奏への技能を身に付け表す。	・音色、リズム、形式、旋律、強弱などを知覚し、感受しながら考え、歌唱表現や器楽表現の意図を理解する。	・曲想や音楽の構造を理解しながら関心を持ち、主体的・協働的に取り組む。

評価方法				
a:定期考査	b:パフォーマンス (実技・実習・課題)	c:小テスト等	d:自己評価	e:授業態度

学期	考査	単元及び指導内容	観点	評価規準	評価方法					配当 時数
					a	b	c	d	e	
1 学期	中間 考査	・音楽理論（音程） ・発声、呼吸法、柔軟 ・リズムトレーニング ・簡単な歌唱	(知)	・他者との調和を意識して歌う技能 ・表現形態の特徴を生かして歌う技能を身に付け表している。		○	※	※	○	12
			(思)	・音色、リズム形式、強弱などを知覚し、感受しながら考え、歌唱表現としてどのように表すかについて表現意図を持っている。		○	※	※	○	
			(態)	・曲想が歌詞の内容や作曲者の思いなどによってもたらされていることを理解しながら、関心を持ち、主体的・協働的に取り組もうとしている。		○	※	※	○	
1 学期	期末 考査	・鑑賞（オーケストラの音楽や楽器について） ・様々なジャンルの音楽	(知)	・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関りについて理解している。		○	※	※	○	12
			(思)	・楽器ごとの音色、リズム、速度、旋律、強弱を知覚し、感受しながらそれらの関りについて考えるとともに曲や演奏に対する評価について考え、音楽のよさを自ら味わって聴いている。		○	※	※	○	
			(態)	・オーケストラなどの様々な楽器の音色や響き、表現上の効果に関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞学習に取り組もうとしている。		○	※	※	○	

2 学期	中間 考 査	<ul style="list-style-type: none"> ・ソルフェージュ ・新曲視唱 ・聴音 ・発声、呼吸法 	(知)	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい発声、呼吸などを意識しながら歌う。 ・技能、表現形態の特徴を生かして歌う。 ・技能を身に付け歌唱で表現している。 		○	※	※	○	16
			(思)	<ul style="list-style-type: none"> ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、感受したことの関りについて考え、どのように歌うかについて表現意図を持っている。 		○	※	※	○	
			(態)	<ul style="list-style-type: none"> ・音程、音色、リズムなどを意識し、主体的・協働的に鑑賞学習に取り組む。 		○	※	※	○	
2 学期	期末 考 査	<ul style="list-style-type: none"> ・総合芸術（レ・ミゼラブルより） 歌唱、学期演奏 ・鑑賞（総合芸術の音楽や楽器について） 	(知)	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関り、表現上の効果を理解している。 		○	※	※	○	16
			(思)	<ul style="list-style-type: none"> ・曲にふさわしい発声、発音、音色などの表現を考えるとともに、どのように演奏するかについて表現意図を持っている。 		○	※	※	○	
			(態)	<ul style="list-style-type: none"> ・総合芸術において物語と音楽が関わり合いながら、どのような表現上の効果をもたらしているか関心を持ち、学習活動に取り組もうとしている。 		○	※	※	○	
3 学期	学 年 末 考 査	<ul style="list-style-type: none"> ・西洋音楽史 ・鑑賞（オペラ、カルメン） ・グループ実習発表（打楽器アンサンブル） 	(知)	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関りについて理解し表現している。 		○	※	※	○	22
			(思)	<ul style="list-style-type: none"> ・音色、リズム、速度、旋律、強弱を知覚し、感受しながら、どのように表現するか理解する。 		○	※	※	○	
			(態)	<ul style="list-style-type: none"> ・物語と音楽の関りをどのように表現するか考え、器楽アンサンブルの発表に関心を持ち学習活動に真剣に取り組む。 		○	※	※	○	
									合計	78